

事業シート(令和4年度決算)

事業名	41100 公衆浴場設備改善事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現	
			項	1	保健衛生費	根拠計画				
			目	1	保健衛生総務費					
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2804							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民の公衆衛生の向上と公衆浴場事業者の経営の安定化	概要	・市内公衆浴場事業者が設備の維持・改善のために行う改修等(太陽エネルギー利用設備・省エネルギー型給湯設備・ボイラー等・その他の浴場設備)にかかる費用に対し補助を行う。
----	----------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	1,800	437	1,200	2,662	2,662	2,225
特定財源						
国費()						
県費(公衆浴場設備改善対策事業費2/3 等)	1,200	291	800	1,774	1,774	1,483
その他()						
一般財源	600	146	400	888	888	742
個票枝番	主な事業内容					
	公衆浴場設備改善対策に対する助成	1,800	437	1,200	2,662	2,662

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額	1,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
2,040	1,200	1,200	0
1,220	800	800	0
820	400	400	0
査定額	説明		
1,200	公衆浴場設備改善対策事業補助金		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内公衆浴場事業者が設備の維持・改善のために行う改修等(ボイラー等・その他の浴場設備)にかかる費用に対し補助を実施 3事業所中2事業所へ補助 ・公衆浴場設備改善への支援により、公衆衛生の向上に寄与した。 ・国・県等に対し、公衆浴場に対する補助対象等の拡大について要望を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの市内公衆浴場事業者が、経営者の高齢化や利用者の減少等により、今後の経営に大きな不安を抱えており、現行の設備改善対策事業費補助金では、大規模な修繕等の対応が困難と考えている。補助率や補助対象の拡大を国・県に対して要望する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、公衆浴場の改修等に対する補助を行うとともに、補助対象の拡大について、国・県に対して継続して要望する。 ・公衆浴場組合と連携して、経営環境の改善を促進する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内公衆浴場事業者が設備の維持・改善のために行う改修等(ボイラー等・その他の浴場設備)にかかる費用に対し補助を実施 2事業所へ補助 ・公衆浴場設備改善への支援により、公衆衛生の向上に寄与した。 ・国・県等に対し、公衆浴場に対する補助対象等の拡大について要望を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・市内公衆浴場事業者は、設備の老朽化や利用者の減少等により、今後の経営に大きな不安を抱えており、現行の設備改善対策事業費補助金では、大規模な修繕等の対応が困難と考えている。補助率や補助対象の拡大を国・県に対して要望する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、公衆浴場の改修等に対する補助を行うとともに、補助対象の拡大について、国・県に対して継続して要望する。 ・公衆浴場組合と連携して、経営環境の状況把握に努める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・公衆浴場事業者が行う設備改修への支援及び事業継続支援に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------------------

財務部 査定の 考え方	・公衆浴場事業継続対策事業補助金(燃料費への助成)については、県の予算化が見送られたことにより、市の予算化も見送り
-------------------	---

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	41110 畜犬登録事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現	
			項	1	保健衛生費	根拠計画	過疎地域持続的発展計画			
			目	1	保健衛生総務費					
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2804							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・狂犬病の発生及びまん延を予防し、狂犬病の撲滅を図り、公衆衛生及び公共の福祉の向上につなげる。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・飼い犬の登録・変更・死亡届出の受付、登録データの管理 ・狂犬病予防注射の実施、注射済票の交付 ・飼い主等に対するマナー啓発の実施 ・所有者不明猫の保護及び不妊手術等への団体補助の実施
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		930	774	900	900	807	33
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(畜犬登録手数料)	930	774	900	900	807	33
一般財源			0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	畜犬登録事務	630	474	600	600	507	33
	飼い主のいない猫の緊急保護に対する助成	300	300	300	300	300	0

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算		実施計画額		900	
		要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)		
		1,023	900	900	0		
		1,023	900	900	0		
		0	0	0			
査定額	説明						
600							
300							

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飼い犬の登録・変更・死亡届出の受付、登録データの管理 登録数4,516頭 ・狂犬病予防注射の実施 4,058頭(集合注射:市内169か所、動物病院等での個別接種) ・未接種者へのはがき送付による接種の勧奨 ・犬のふん尿マナー啓発用看板設置 ・動物愛護団体が実施する所有者不明猫の保護活動に対する補助(49頭)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、飼い犬の登録等の届出や、狂犬病予防注射の必要性の周知、飼い主のマナー向上の啓発に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内を巡回しての狂犬病予防集合注射を継続して実施する。 ・狂犬病予防注射の重要性の啓発を行い、予防注射接種率の向上を目指す。 ・未接種者に対する啓発を迅速に実施する。 ・希望者に対するマナー啓発看板の配付を実施する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飼い犬の登録・変更・死亡届出の受付、登録データの管理 登録数4,380頭 ・狂犬病予防注射の実施 3,833頭(集合注射:市内165か所、動物病院等での個別接種) ・未接種者へのはがき送付による接種の勧奨 ・犬のふん尿マナー啓発用看板設置 ・動物愛護団体が実施する所有者不明猫の保護活動に対する補助(48頭)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、飼い犬の登録等の届出や、狂犬病予防注射の必要性の周知、飼い主のマナー向上の啓発に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内を巡回しての狂犬病予防集合注射を継続して実施する。 ・狂犬病予防注射の重要性の啓発を行い、予防注射接種率の向上を目指す。 ・未接種者に対する啓発を迅速に実施する。 ・希望者に対するマナー啓発看板の配付を実施する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・動物愛護の啓発に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査
-------------------	--

市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・財務部査定のとおりに
--------------	---

事業シート(令和4年度決算)

事業名	41120 公衆衛生推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現	
			項	1	保健衛生費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画	
			目	1	保健衛生総務費					
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2804							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・保健・衛生関係事務の適正な執行により、市民の健康の維持・増進及び公衆衛生の向上を図る。	概要	・保健・衛生関係事務の遂行 ・保健・衛生関係団体への負担金の支出 ・骨髄移植ドナー及び雇用事業所に対する助成
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3			R4		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,291	771	1,061	906	819	48
特定財源	国費()						
	県費(骨髄移植ドナー支援事業費 1/2、県委譲事務交付金)	253	39	144	144	142	103
	その他()						
一般財源		1,038	732	917	762	677	△ 55
個票枝番	主な事業内容						
	公衆衛生推進事業	351	299	331	176	144	△ 155
	食品中の人工放射性物質検査の実施	520	472	520	520	465	△ 7
	骨髄移植ドナー等に対する助成	420	0	210	210	210	210

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		1,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
484	481	481	△ 580	
144	142	142	△ 2	
340	339	339	△ 578	
査定額	説明			
271				
210	骨髄移植ドナー支援事業補助金			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・飛騨公衆衛生協議会負担金 ・飛騨口腔保健協議会負担金 ・消費者庁貸与機器による東日本17都県産食品の放射性物質検査の実施・結果の公表(月2回・年間24回実施)
評価等	・保健衛生関係事務の適正な執行により、市民の健康の維持や公衆衛生の向上が図られた。 ・引き続き負担金の適正な使途の確認が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き適正な事務の執行に務める。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・飛騨公衆衛生協議会負担金 ・消費者庁貸与機器による東日本17都県産食品の放射性物質検査の実施・結果の公表(月2回・年間24回実施) ・骨髄移植ドナーへの支援補助 ドナー1名、事業所1箇所
評価等	・保健衛生関係事務の適正な執行により、市民の健康の維持や公衆衛生の向上が図られた。 ・引き続き負担金の適正な使途の確認が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き適正な事務の執行に務める。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・保健衛生関係団体への会費負担金等の必要な経費を計上 ・食品中の人工放射性物質検査の終了により減額
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	41200 健康づくり推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現	
			項	1	保健衛生費		根拠計画	健康たかやま21、過疎地域持続的発展計画		
			目	2	予防費					
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2804							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民・関係団体と一体となり、市民一人ひとりの健康に対する意識を高めるとともに、心身の健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、市民の健康の保持増進を支援する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進協議会の開催 集団健康教育、食生活改善推進員教育事業(栄養教室)、国民の健康づくり推進事業(飛まつり会) 一般健康相談、重点及び総合健康相談 健康ポイント事業 眠育や食育の推進 健康づくり水中運動事業 たばこによる健康被害の軽減 ウォーキングコースの周知、ウォーキングの習慣化に向けた事業の実施によるウォーキングの推進
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
運動習慣者(30分・週2回以上の運動を1年以上継続)の割合(20~64歳)	43.1%	25.7%	34%
「主体的な健康づくりや病気の予防に取り組み環境が整っている」と感じている市民の割合	58.3%	53.0%	↗
健康寿命 (*R1最新値)	男80.01 女84.91	—	男80 女84

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3		R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	12,818	5,063	8,951	8,951	4,933	△ 130
特定財源						
国費()						
県費(健康増進事業費ほか2/3)	900	994	894	894	996	2
その他(福祉健康基金繰入金、保健介護一体的実施事業)	500	434	740	740	612	178
一般財源	11,418	3,635	7,317	7,317	3,325	△ 310
個票枝番	主な事業内容					
	600					
	1,920	1,094	1,680	1,680	1,300	206
	7,400	1,916	4,620	4,620	1,969	53
	500	434	500	500	372	△ 62
	500	68	500	500	10	△ 58
	400	618	400	400	624	6

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		14,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
10,472	9,441	9,441	490	
1,093	994	994	100	
550	1,070	1,070	330	
8,829	7,377	7,377	60	
査定額	説明			
480	健康づくり啓発チラシ印刷・折込広告			
1,680				
4,380				
550	フレイル予防講座			
500				
600				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市内ウォーキングコースの点検整備 コロナの影響により市民健康まつりを中止 一般健康相談(738回 1,434人)、重点及び総合健康相談(89回 169人)、集団健康教育(18回 292人)うちフレイル予防講座 21回 参加者185人) 食生活改善学習会実施回数(7回) 健康ポイント事業(達成者1,204人) 水中歩行運動事業(3クール、利用者59人) 眠育講座(2回、アドバイザー養成57名)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 健康ポイント事業、水中歩行運動により、市民が自ら健康づくりに取り組むための環境整備を図った。 学校や保育園などで眠育や食育の重要性を啓発した。 食生活改善推進員等の関係団体については、「健康たかやま21」や「高山市食育推進計画」の推進に欠かせない重要な団体として協働していく。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 一番手軽な運動であるウォーキングに取り組んでもらうことができるよう、ウォーキングコースや水中歩行運動事業のコースの周知・啓発を実施し、利用を促進する。 眠育やフレイル予防などライフステージに応じた健康づくりを推進する。 市民が自主的な健康づくりの取組みを行えるよう啓発を行う。 健康寿命の延伸に向け、関係部局と連携し、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に取り組む。

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響により市民健康まつりを中止、広報たかやまに健康づくり啓発掲載 一般健康相談(744回 1,386人)、重点及び総合健康相談(136回398人)、集団健康教育(108回 675人)うちフレイル予防講座 27回 参加者279人) 食生活改善学習会実施回数(15回) 健康ポイント事業(達成者1,426人) 水中歩行運動事業(2クール、利用者54人) 眠育講座(4回、アドバイザー養成65名)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 健康ポイント事業、水中歩行運動により、市民が自ら健康づくりに取り組むための環境整備を図った。 学校や保育園などで眠育や食育の重要性を啓発した。 食生活改善推進員等の関係団体については、「健康たかやま21」や「高山市食育推進計画」の推進に欠かせない重要な団体として協働していく。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 一番手軽な運動であるウォーキングに取り組んでもらうことができるよう、ウォーキングコースや水中歩行運動事業の周知・啓発を実施し、利用を促進する。 眠育やフレイル予防などライフステージに応じた健康づくりを推進する。 市民が自主的な健康づくりの取組みを行えるよう啓発を行う。 健康寿命の延伸に向け、関係部局と連携し、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に取り組む。

担当課 予算要求 ポイント	健康寿命の延伸の取組に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	41210	こころの健康支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
				款	4	衛生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現	
				項	1	保健衛生費		根拠計画	健康たかやま21、一人ひとりの命とこころを支える計画(自殺対策計画)、過疎地域持続的発展計画		
				目	2	予防費					
担当課	市民保健部	健康推進課	内線	2846							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・個別の相談や啓発を行い、こころの健康の保持増進を図る。	概要	・メンタルヘルスチェックシステムによるこころの健康の啓発 ・精神保健福祉士によるこころの健康相談 ・ゲートキーパー養成講座の開催
----	------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
こころの健康相談来所者数	25人	28人	36人
こころの体温計アクセス数	16,160件	33,126件	20,000件

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3		R4			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		689	602	690	690	623	21
特定財源	国費()						
	県費(こころの健康支援事業費1/2)	350	299	340	340	309	10
	その他()						
一般財源		339	303	350	350	314	11
個票枝番	主な事業内容						
	こころの健康支援事業	390	338	390	390	371	33
	ゲートキーパーの育成、命の大切さの啓発	299	264	300	300	251	△13

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
710	680	680	△10	
353	340	340		
357	340	340	△10	
査定額	説明			
380				
300				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルスチェックシステムの維持(アクセス数:16,160件) ・精神保健福祉士によるこころの健康相談(25人) ・メンタルヘルスに関する出前講座、イベント等でのパンフレットの配布 ・ゲートキーパーの育成(272人)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身や大切な人のこころの状態を確認できるメンタルヘルスチェックシステム(こころの体温計)の利用啓発に努める。 ・引き続き、精神保健福祉士によるこころの健康相談事業の普及・啓発と相談しやすい環境の整備に努める必要がある。 ・自殺のサインに気づき適切な対応ができる人材を育成するため、ゲートキーパー養成講座を開催した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士によるこころの健康相談事業は、「健康たかやま21」にも位置づけられた「こころの健康」につながるのと同時に、ニーズも増えてきていることから、今後も継続していく。 ・メンタルヘルスに関する各種事業により、自殺者減少に向けた啓発を行う。 ・高山市自殺対策計画に基づき、各種施策の推進、進捗管理を行う。 ・誰も自殺に追い込まれることのない高山市の実現のため、引き続き人材育成、相談体制の充実を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルスチェックシステムの維持(アクセス数:33,126件) ・精神保健福祉士によるこころの健康相談(28人) ・出前講座等でのパンフレットの配布および行政機関等の各種相談窓口や公共施設等にパンフレットの設置 ・ゲートキーパーの育成(132人)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身や大切な人のこころの状態を確認できるメンタルヘルスチェックシステム(こころの体温計)の利用啓発に努める。 ・引き続き、精神保健福祉士によるこころの健康相談事業の普及・啓発と相談しやすい環境の整備に努める必要がある。 ・自殺のサインに気づき適切な対応ができる人材を育成するため、ゲートキーパー養成講座を開催した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士によるこころの健康相談事業は、「健康たかやま21」にも位置づけられた「こころの健康」につながるのと同時に、ニーズも増えてきていることから、今後も継続していく。 ・メンタルヘルスに関する各種事業により、自殺者減少に向けた啓発を行う。 ・自殺対策計画に基づき、各種施策の推進、進捗管理を行う。 ・誰も自殺に追い込まれることのない高山市の実現のため、引き続き人材育成、相談体制の充実を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・自殺対策を推進するためのゲートキーパーの育成、こころの健康相談等の実施に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	41220 健康診査事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現	
			項	1	保健衛生費		根拠計画		健康たかやま21、過疎地域持続的発展計画	
			目	2	予防費					
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2846							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 各種検診を実施し、疾病の予防及び早期発見、早期治療を行うことで健康増進を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 前年度末に各種検診の全対象者に申込書を交付し、希望のあった方に問診票を送付 4月中旬から3月下旬まで各種検診を実施 胃部レントゲン検査が受けられない市民を対象とした胃内視鏡による胃がん検診の実施(H31～)
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
がん(胃・大腸・肺・乳・子宮頸がん)検診受診率	40.2%	39.3%	50%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	137,744	123,196	129,998	129,998	121,889	△ 1,307	
特定財源							
国費 (がん検診推進事業費1/2)	100	108	100	100	110	2	
県費 (健康増進事業費2/3)	3,500	3,217	3,380	3,380	3,012	△ 205	
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)							
一般財源	134,144	119,871	126,518	126,518	118,767	△ 1,104	
個票枝番	主な事業内容						
	健康診査委託料	17,000	14,638	16,300	16,298	14,970	332
	がん検診委託料	89,695	81,759	84,500	84,500	79,021	△ 2,738
	骨粗しょう症検診、歯周疾患検診、肝炎検査、胸部レントゲン委託料	19,300	15,988	17,000	17,000	16,699	711
	胃内視鏡検診委託	4,000	3,585	4,000	4,000	3,792	207

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		150,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
136,392	136,058	136,058	6,060	
90	90	90	△ 10	
3,441	3,440	3,440	60	
132,861	132,528	132,528	6,010	
査定額	説明			
16,200				
90,600				
17,400				
4,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 前年度末に各種検診の全対象者に申込書を交付し、希望のあった方に問診票等を送付。4月中旬から3月中旬まで各種検診を実施した。 がん検診推進事業により、乳がん(40歳)・子宮頸がん(20歳)・大腸がん(40歳)について、一定年齢に到達した者に対して自己負担金の無料化を実施した。 各種検診受診者数(総数:42,961人) 健康診査:1,980人 胃がん:5,539人 胃がん(内視鏡):174人 大腸がん:9,344人 子宮頸がん:5,894人 乳がん:6,255人 肺がん:11,130人 前立腺がん:906人 肝炎ウイルス:620人 歯周疾患:439人 骨粗鬆症:680人 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 健康意識の向上、生活習慣改善のため、各種検診を実施した。 各種検診の受診率の向上が課題である。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 各種検診を継続して実施し、受診率の向上を目指す。 「健康たかやま21」の目標である、がん検診受診率の達成を目指す。 生命保険会社や協会けんぽとの協定に基づき、市が行う各種検診の受診勧奨や健康教室等の案内文書の配付等で協働することで、市民全体の健康づくりを推進する。 	

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 前年度末に各種検診の全対象者に申込書を交付し、希望のあった方に問診票等を送付。4月中旬から3月中旬まで各種検診を実施した。 がん検診推進事業により、乳がん(40歳)・子宮頸がん(20歳)・大腸がん(40歳)について、一定年齢に到達した者に対して自己負担金の無料化を実施した。 各種検診受診者数(総数:42,165人) 健康診査:2,057人 胃がん:5,269人 胃がん(内視鏡):184人 大腸がん:9,175人 子宮頸がん:5,902人 乳がん:6,181人 肺がん:10,862人 前立腺がん:907人 肝炎ウイルス:557人 歯周疾患:389人 骨粗鬆症:682人 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 健康意識の向上、生活習慣改善のため、各種検診を実施した。 各種検診の受診率の向上が課題である。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 各種検診を継続して実施し、受診率の向上を目指す。 「健康たかやま21」の目標である、がん検診受診率の達成を目指す。 生命保険会社や協会けんぽとの協定に基づき、市が行う各種検診の受診勧奨や健康教室等の案内文書の配付等で協働することで、市民全体の健康づくりを推進する。 	

担当課 予算要求 ポイント	各種がん検診、健康診査等に必要経費を計上
---------------------	----------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
-------------------	---------

市長査定 の考え方	財務部査定のとおり
--------------	-----------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	41230 訪問指導事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現	
			項	1	保健衛生費		健康たかやま21、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	予防費		根拠計画			
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2844							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・保健指導が必要であると認められる市民及びその家族に対して、訪問により必要な指導を行い、健康の保持増進を図る。	概要	・健診結果や療養上から必要な者に対する訪問指導の実施
----	---	----	----------------------------

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(H25比)	+14.8%	+7.7%	25%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3			R4		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		703	670	930	930	717	47
特定財源	国費()						
	県費(健康増進事業費2/3)	34	34	34	34	34	0
	その他(特定保健指導事業)	230	135	230	230	7	△128
一般財源		439	501	666	666	676	175
個票枝番	主な事業内容						
	訪問指導事業	703	670	930	930	717	47

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		1,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
939	930	930	0	
34	34	34	0	
905	896	896	230	
査定額	説明			
930				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・健診結果や療養上から必要な者に対する訪問指導を実施した。(3,009人)
評価等	・健診結果や療養上から必要な者に対する訪問指導を実施した。(3,009人)
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・引き続き、保健指導が必要と認められる市民に対し、健康の保持増進を図るため訪問指導を実施していく。 ・協会けんぽとの連携による保健指導を継続していく。

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・健診結果や療養上から必要な者に対する訪問指導を実施した。(3,345人)
評価等	・健診結果や療養上から必要な者に対する訪問指導を実施した。(3,345人)
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定 ・引き続き、保健指導が必要と認められる市民に対し、健康の保持増進を図るため訪問指導を実施していく。 ・協会けんぽと連携し、希望する事業者等の保健指導を検討していく。

担当課 予算要求 ポイント	・中学3年生から74歳までの保健指導の実施に必要な経費を計上 ・特定保健指導の実施に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	41240 感染症対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現	
			項	1	保健衛生費		新規インフルエンザ等対策行動計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	予防費		根拠計画			
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2805							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民に対し予防接種を実施することにより、疾病の発病及び重症化予防、まん延を予防する。 新たな感染症の感染拡大を可能な限り抑制して、健康被害を最小にとどめ、社会・経済への影響を低減する。 新たな感染症に対する備蓄品の適正な管理と計画的な更新 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 定期予防接種(A類・B類)の実施 風しん任意予防接種に対する助成 小児インフルエンザ予防接種に対する助成 小児がん患者ワクチン再接種に対する助成 新たな感染症対策備蓄品(マスク・防護服・手袋・消毒薬等)の計画的な更新
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
定期予防接種率(A類疾病)	84.5%	93.8%	95.0%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4			増減 (b)-(a)
	最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)		
	276,799	218,167	271,344	276,660	224,572	6,405	
特定財源	国費 (感染症対策事業費1/2)	17,100	9,423	7,770	7,770	2,481	△ 6,942
	県費 (小児がん患者ワクチン再接種補助金1/2)	150	21	100	100	10	△ 11
	その他(福祉健康基金繰入金)			1,320	1,320	1,320	1,320
一般財源	259,549	208,723	262,154	267,470	220,761	12,038	
個票枝番	主な事業内容						
	定期予防接種(麻しん・風疹・四種・二種混合、日本脳炎、ロタウイルス等)	190,600	179,287	183,900	183,900	182,355	3,068
	小児インフルエンザ予防接種費補助金	25,000	12,692	22,000	20,693	11,044	△ 1,648
	小児がん患者へのワクチン再接種に対する助成	300	43	200	200	21	△ 22
	風しん対策	45,200	6,871	21,770	21,770	1,870	△ 5,001
	感染症対策備蓄品	3,800	3,597	3,800	3,800	3,793	196
◎ 1	子宮頸がんワクチン接種(R4は積極的な勧奨再開)	1,900	6,039	37,600	37,600	17,045	11,006
	期間内に接種の終わらない子宮頸がんワクチン接種に対する助成	800	772				△ 772

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		290,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)	
267,401	266,500	266,500	△ 4,844	
5,238	5,220	5,220	△ 2,550	
91	100	100		
	30	30	△ 1,290	
262,072	261,150	261,150	△ 1,004	
査定額	説明			
187,874				
21,500				
200				
13,976				
3,800				
37,020				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 定期予防接種を実施した。(A類疾患接種率:84.5%) B型肝炎1,522人、ヒブ2,078人、小児肺炎球菌2,071人、4種混合2,134人、2種混合662人、BCG514人、麻しん・風しん1,155人、水痘1,071人、日本脳炎1,343人、ロタウイルス1,076人、高齢者インフルエンザ17,444人、高齢者肺炎球菌612人 小児インフルエンザは生後6か月以上中学生生までの子どもに対し、5,946人の助成を行った。 新型インフルエンザ等対策備蓄品(マスク・防護服・手指消毒薬等)の計画に基づく更新を行った。 成人の風しん追加対策として抗体検査483件行い、十分な抗体がない者に予防接種116件を行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 感染症のまん延や重症化を予防するため、各種予防接種の接種勧奨に努める必要がある。 日本脳炎のワクチン供給不足に伴い、国の方針に基づき、一部対象者に接種勧奨及び予防票の送付を見合わせたこともあり接種者が減少した。R4年度は、ワクチンの安定した供給が見込まれるようになり、国の方針に基づき、R3年度に予防票の送付を見合わせていた対象者に個別通知する。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 予防接種法に沿って実施する。特に感染力が強い、麻しん・風しんの予防接種については個別勧奨等を実施し、接種率の向上を図る。 新型インフルエンザ等対策特別措置法・行動計画に基づいた備蓄品等の整備・更新計画により、備蓄品を適正に確保・管理する。 	

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 定期予防接種を実施した。(A類疾患接種率:93.8%) B型肝炎1,439人、ヒブ1,938人、小児肺炎球菌1,945人、4種混合1,912人、2種混合524人、BCG485人、麻しん・風しん1,050人、水痘928人、子宮頸がん1,054人、日本脳炎3,130人、ロタウイルス1,050人、高齢者インフルエンザ17,184人、高齢者肺炎球菌618人 小児インフルエンザは生後6か月以上中学生生までの子どもに対し、5,020人の助成を行った。 新型インフルエンザ等対策備蓄品(マスク・防護服・手指消毒薬等)の計画に基づく更新を行った。 成人の風しん追加対策として抗体検査185件行い、十分な抗体がない者に予防接種39件を行った。 小児がん患者へのワクチン再接種に対し、2件助成を行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 感染症のまん延や重症化を予防するため、各種予防接種の接種勧奨に努める必要がある。 日本脳炎については、R4年度は、ワクチンの安定した供給が見込まれるようになり、国の方針に基づき、R3年度に予防票の送付を見合わせていた対象者にハガキや問診票の送付にて個別通知を行い接種者が増加した。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 予防接種法に沿って実施する。特に感染力が強い、麻しん・風しんの予防接種については個別勧奨等を実施し、接種率の向上を図る。 新型インフルエンザ等対策特別措置法・行動計画に基づいた備蓄品等の整備・更新計画により、備蓄品を適正に確保・管理する。 	

担当課 予算要求 ポイント	感染症対策に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	41240 感染症対策事業費	区分	<input type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	会計	1	一般会計	担当課	市民保健部 健康推進課
枝番・内容	1 子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨再開		<input checked="" type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	4		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	1	保健衛生費	内線	2804
			<input type="checkbox"/>		目	2	予防費	作成年月	R5.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	ヒトパピローマウイルスの感染を予防し、子宮頸がん発症の予防に寄与する	概要	<ul style="list-style-type: none"> 対象者に対し、積極的勧奨を再開(平成25年4月1日より定期予防接種となるが、平成25年6月14日積極的勧奨を差し控える通知が出る) ヒトパピローマウイルスワクチン接種(3回) 対象者 小学6年から高校1年に相当する年齢の女子
----	------------------------------------	----	--

[参考] R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	2,700
	繰越	0
	補正等	0
	最終	2,700
決算額		6,811
対前年度増減額(決算)		5,704

[参考] R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	37,600
主な経費	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		34,900

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	37,600
	繰越	
	補正等	
	最終	37,600
決算額		17,045
対前年度増減額(決算)		10,234

R5当初予算(Action) (千円)

査定額	当初	37,020
主な経費	委託料	
対前年度増減額(当初予算)		△ 580

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p> <p>対象者 386人 接種者数 1回目 123人 2回目 128人 3回目 109人</p> <p>平成16年度生は令和3年4月～9月まで行政措置として定期接種期間を延長した。</p> <p>[評価等]</p> <p>定期接種対象者にリーフレットを送付し周知案内を実施。 希望者に予診票を配布し、接種を実施した。</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <p>ヒトパピローマウイルスワクチン接種(3回) ○定期対象者:小学校6年から高校1年に相当する年齢の女子(標準的 には中1) 案内方法:予診票を送付 実施方法:委託契約を締結した実施機関 ○キャッチアップ接種の対象者 積極的勧奨を差し控えている間に定期接種の対象であった平成9年度 生まれから平成17年度生まれまでの女子 キャッチアップ期間:令和4年4月から令和7年3月までの3年間 周知方法、実施方法は国の方針が決定次第実施予定</p> <p>[スケジュール]</p> <p>定期接種:令和4年から順次、(高校1年、中学3年に相当する年齢の女子から)予診票を発送</p>	

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p> <p>令和4年4月に中学校1年～高校1年の女子で計3回未完了者1,415人へ予診票を送付 令和4年5月に平成9年度生～平成17年度生まれの女性で計3回未完了者2,625人へ予診票を送付</p> <p>接種者数は、1回目 416人 2回目 375人 3回 263人</p> <p>[評価等]</p> <p>R4年度は未完了者全員へ予診票および事業案内を送付した。 以下接種者内訳 定期接種対象者:1回目 170人 2回目 170人 3回目 120人 キャッチアップ対象者:1回目 246人 2回目 205人 3回目 143人</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <p>ヒトパピローマウイルスワクチン(2価・4価・9価)の接種 年齢と接種するワクチンの種類によって接種回数は2回または3回。 ○定期対象者:小学校6年から高校1年に相当する年齢の女子(標準的 には中1) ○キャッチアップ接種の対象者 積極的勧奨を差し控えている間に定期接種の対象であった平成9年度 生まれから平成18年度生まれまでの女性 キャッチアップ期間:令和4年4月から令和7年3月までの3年間</p> <p>[スケジュール]</p> <p>定期接種:4月に中学校1年の女子へ予診票を発送 中2～高校1年とキャッチアップ接種対象者:R4年度に予診票を発送済 R5年度から新たに9価ワクチンが定期接種に加わるという周知ハガキは R5.3月に送付済</p>	

事業シート(令和4年度決算)

事業名	41250 保健センター管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現	
			項	1	保健衛生費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画	
			目	2	予防費					
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2804							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・支所地域の公衆衛生の向上及び市民の健康の保持・増進を図る。	概要	・支所地域に設置されている保健センター(6か所)の管理・運営
----	--------------------------------	----	--------------------------------

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		6,013	5,802	6,130	6,950	6,629	827
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(保健センター使用料、敷地占用料、保健センター等使用雑入)	1,151	1,406	1,121	1,121	1,782	376
一般財源		4,862	4,396	5,009	5,829	4,847	451
個票枝番	主な事業内容						
	保健センターの管理運営	6,013	5,802	6,130	6,950	6,629	827

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
9,124	9,330	9,330	3,200
1,549	1,419	1,419	298
7,575	7,911	7,911	2,902
査定額	説明		
9,330			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・支所地域に設置されている保健センター(6か所)の管理・運営 延べ利用日数 545日、延べ利用者数 4,867人
評価等	・必要な保健事業は実施できているが、施設の利用頻度が低い施設が多い。各保健センターの利用状況等を考慮し、管理運営方針を決定する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、高山市保健センターの適正な管理・運営を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・支所地域に設置されている保健センター(6か所)の管理・運営 延べ利用日数 592日、延べ利用者数 6,358人
評価等	・必要な保健事業は実施できているが、施設の利用頻度が低い施設が多い。各保健センターの利用状況等を考慮し、廃止に向けた調整を進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、高山市保健センターの適正な管理・運営を行いつつ、総合管理計画に基づく支所地域の施設の廃止に向けた調整を進める。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・支所地域の保健センターの適正な管理・運営に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	41300 母子保健事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 乳幼児から高校生まで、時代に合った子育て環境を提供します
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(2)	安心して子育てができる環境の充実		
			項	1	保健衛生費		根拠計画				
			目	3	母子衛生費						
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2805								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・妊産婦および乳幼児の健康の保持増進	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診・相談、新生児聴覚検査 ・妊婦健康診査、妊婦歯科検診、妊婦教室、妊婦栄養支援 ・生殖補助医療(特定不妊治療)費助成、特定不妊治療支援利子補給金交付 ・一般不妊治療(人工授精)費助成 ・産後健康診査 ・産後ケア事業
----	--------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4			増減 (b)-(a)
	最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)		
	116,365	97,953	107,965	107,787	88,549	△ 9,404	
特定財源	国費 (母子保健事業費 1/2 等)	3,700	3,965	3,250	3,250	3,315	△ 650
	県費 (母子保健事業費 1/2)	600	957	425	425	70	△ 887
	その他 (飛騨高山ふるさと基金繰入金)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
一般財源	110,065	91,031	102,290	102,112	83,164	△ 7,867	
個票枝番	主な事業内容						
	母子健康手帳交付から3歳児に至るまでの母子保健活動	6,610	5,768	6,510	6,510	5,002	△ 766
	生殖補助医療(特定不妊治療)費助成、特定不妊治療支援利子補給金、一般不妊治療(人工授精)費助成	26,500	28,167	23,800	23,622	20,165	△ 8,002
	妊婦健康診査、産後健診、新生児聴覚検査費助成	80,900	62,867	75,300	74,235	60,138	△ 2,729
	妊婦栄養支援	600	647	600	600	568	△ 79
	妊産婦相談窓口の設置	130	95	130	130	92	△ 3
◎ 1	心身の休養が必要な産婦に対する支援(産後ケア)	1,600	384	1,600	1,600	1,494	1,110
	初回産科受診料助成						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		121,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)	
104,524	107,645	107,645	△ 320	
3,400	3,250	3,250		
			△ 425	
		33,000	31,000	
101,124	104,395	71,395	△ 30,895	
査定額	説明			
6,870				
26,220				
71,900	妊婦健診、妊婦歯科検診、産後健診 等			
700				
130				
1,600				
200				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦一般健康診査受診票を542人に交付し、6,985件の助成を行った。 ・新生児聴覚スクリーニング検査は521人に助成を行った。 ・妊婦栄養支援として、牛乳またはヨーグルトに対する助成を122件行った。 ・生後2か月前後の乳児に対し赤ちゃん訪問を522人に行った。 ・乳幼児健診(4か月・1歳6か月・3歳)、相談(7か月・10か月・2歳)事業として2,669人に行った。 ・一般不妊治療(人工授精)の助成を38件行った。 ・特定不妊治療費助成を144件、特定不妊治療支援利子補給を5件行った。 ・産後健康診査(産後2週間及び産後1か月)は延べ1,005件行った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診、相談事業について、受診率は一番低いものでも90%を超えているが、さらに受診率が上昇するよう、その必要性を対象者に周知していく必要がある。 ・エジンバラ産後うつ病質問票により産婦の精神状態の把握ができ、早期支援の動機付けになった。 ・心身の休養が必要な産婦に対する支援を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を担う子どもを安心して産み、健やかに育てていくために、今後も事業を継続していく。 ・エジンバラ産後うつ病質問票の結果などを踏まえ、産後ケアや助産師相談等産婦の心身にわたる支援につなげる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦一般健康診査受診票を540人に交付し、6,476件の助成を行った。 ・新生児聴覚スクリーニング検査は511人に助成を行った。 ・妊婦栄養支援として、牛乳またはヨーグルトに対する助成を127件行った。 ・生後2か月前後の乳児に対し赤ちゃん訪問を498人に行った。 ・乳幼児健診(4か月・1歳6か月・3歳)、相談(7か月・10か月・2歳)事業として3,285人に行った。 ・不妊治療費(人工授精)の助成を65件、不妊治療費(生殖補助医療)助成を145件行った。 ・特定不妊治療支援利子補給を4件行った。 ・産後健康診査(産後2週間及び産後1か月)は延べ934件行った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診、相談事業について、受診率は90%を超えているが、さらに受診率が上昇するよう、その必要性を対象者に周知していく必要がある。 ・エジンバラ産後うつ病質問票により産婦の精神状態の把握ができ、早期支援の動機付けになった。また、早急に対応が必要な産婦については医療機関から直接連絡が入る流れができた。 ・心身の休養が必要な産婦に対し、迅速に必要な支援ができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての妊婦、子育て家庭が安心して出産・子育てできるよう、今後も事業を継続していく。 ・エジンバラ産後うつ病質問票の結果などを踏まえ、産後ケアや助産師相談等産婦の心身にわたる支援につなげる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠前から産後にわたり切れ目のない支援を行うために必要な経費を計上 ・生殖補助医療費助成に必要な経費を計上(先進医療による治療を補助対象に追加) ・初回産科受診料助成に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	41300 母子保健事業	区分	<input type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	市民保健部 健康推進課
枝番・内容	1 心身の休養が必要な産婦に対する支援		<input checked="" type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	4	衛生費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	保健衛生費	内線	2804	
		<input type="checkbox"/>		目		3	母子衛生費	作成年月	R5.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・出産後、身体的または精神的な不調により、育児を十分に行うことができない産婦に対し、休養できる場を提供することで、産後うつや新生児虐待を予防する。	概要	・産後ケア事業の実施
----	---	----	------------

[参考] R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	1,600
	繰越	0
	補正等	0
	最終	1,600
決算額		384
対前年度増減額(決算)		110

[参考] R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	1,600
主な経費	委託料	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	1,600
	繰越	
	補正等	
	最終	1,600
決算額		1,494
対前年度増減額(決算)		1,110

R5当初予算(Action) (千円)

査定額	当初	1,600
主な経費	委託料	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p> <p>出産後、身体的または精神的な不調により、育児を十分に行うことができない産婦に対し、休養できる場を提供。 (宿泊型4泊・通所型0日・訪問型110時間)</p> <p>[評価等]</p> <p>適切な育児の方法について、専門家による具体的な指導を行い、産婦の安心につなげることができた。</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <p>出産後、身体的または精神的な不調により、育児を十分に行うことができない産婦に対し、休養できる場を提供する。 (宿泊型・通所型・訪問型)</p> <p>[スケジュール]</p> <p>訪問の機会や医療機関を通じて個別に周知を図り、年間を通じて実施</p>	

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p> <p>出産後、身体的または精神的な不調により、育児を十分に行うことができない産婦に対し、休養できる場を提供。 (宿泊型6泊・通所型8日・訪問型152回*1回に概ね2時間の利用)</p> <p>[評価等]</p> <p>自己負担額の引き下げにより、実績数が増加した。 産後の身体的ケア、産婦の心理的ケア、適切な授乳が実施できるためのケア(乳房ケア等)、育児の手技についての専門家による具体的な指導及び相談を行うことで、産婦の休養や安心につなげることができた。</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <p>出産後、身体的または精神的な不調により、育児を十分に行うことができない産婦に対し、休養できる場を提供する。 (宿泊型・通所型・訪問型)</p> <p>[スケジュール]</p> <p>訪問の機会や医療機関を通じて個別に周知を図り、年間を通じて実施</p>	

事業シート(令和4年度決算)

事業名	41305 出産・子育て応援事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 乳幼児から高校生まで、時代に合った子育て環境を提供します
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(2)	安心して子育てができる環境の充実		
			項	1	保健衛生費		根拠計画				
			目	3	母子衛生費						
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2805								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	妊婦や子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、「経済的支援」を実施するとともに、妊娠期から出産・子育てに至るまで、面談を通して各家庭の状況を把握し、悩みや不安に寄り添いながら必要な支援へと繋いでいく「伴走型相談支援」を実施する。	概要	・妊婦及び乳幼児を養育する子育て世帯に対し、出産・子育て応援給付金の支給による「経済的支援」の実施 ・妊婦及び乳幼児を養育する子育て世帯に対し、保健師や助産師などが訪問・面談を行い、悩みや不安に寄り添いながら必要な支援へと繋いでいく「伴走型相談支援」の実施
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3		R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
				75,560	57,848	57,848
特定財源						
国費 (出産・子育て応援事業費 10/10、2/3、1/2)				50,800	39,000	39,000
県費 (出産・子育て応援事業費 1/6、1/4)				12,700	9,750	9,750
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源				12,060	9,098	9,098
個票枝番	主な事業内容					
◎ 1	出産・子育て応援給付金					
◎ 1	伴走型相談支援					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		63,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
60,774	62,780	62,780	62,780	
40,452	42,460	42,460	42,460	
10,161	10,160	10,160	10,160	
		8,000	8,000	
10,161	10,160	2,160	2,160	
査定額	説明			
62,000				
780				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦及び乳幼児を養育する子育て世帯に対する経済的支援として、出産応援給付金736件、子育て応援給付金410件の支給を行った。 ・R5.2.1以降、すべての妊娠届出をした妊婦及び出産児の養育者に対し、保健師等による面談を行い、安心して出産、子育てできるよう相談支援を行った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての妊産婦と面談し、妊娠期から出産、子育てまで一貫して身近に相談に応じることで、様々なニーズに合わせ、必要なタイミングで必要な支援ができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求ポイント	・妊婦及び乳幼児を養育する子育て世帯に対する経済的支援及び伴走型相談支援に必要な経費を計上
--------------	---

財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査 ・システム整備に必要な経費を追加計上
------------	--

市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに
----------	-------------

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	41305 出産・子育て応援事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	会計	1	一般会計	担当課	健康推進課
枝番・内容	1 出産・子育て応援給付金・伴走型相談支援		<input type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	4		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	1	保健衛生費	内線	2805
			<input type="checkbox"/>		目	3	母子衛生費	作成年月	R5.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・妊婦や子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、「経済的支援」を実施するとともに、妊娠から出産・子育てに至るまで、面談を通して各家庭の状況を把握し、悩みや不安に寄り添いながら必要な支援へと繋いでいく「伴走型相談支援」を実施する。	概要	・妊婦及び乳幼児を養育する子育て世帯に対し、出産・子育て応援給付金の支給による「経済的支援」の実施 ・妊婦及び乳幼児を養育する子育て世帯に対し、保健師や助産師などが訪問・面談を行い、悩みや不安に寄り添いながら必要な支援へと繋いでいく「伴走型相談支援」の実施
----	---	----	---

[参考] R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	75,560
	最終	75,560
決算額		57,848
対前年度増減額(決算)		57,848

R5予算査定(Action) (千円)

査定額	当初	62,780
主な経費	・出産・子育て応援給付金 ・伴走型相談支援に係る経費	
対前年度増減額(当初予算)		62,780

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	<p>・経済的支援 出産・子育て応援給付金の支給 ・妊娠届出時:妊婦1人につき50千円 ・出生届出後:子ども1人につき50千円 * 遡及支給対象 ・令和4年4月1日～令和5年1月31日までの出生 ・令和4年4月1日～令和5年1月31日までの妊娠届出 ・伴走型相談支援 妊娠期から出産・子育てに至るまで、面談を通して各家庭の状況を把握し、悩みや不安に寄り添いながら必要な支援へと繋いでいく。</p> <p>・妊婦及び乳幼児を養育する子育て世帯に対する経済的支援として、出産応援給付金736件、子育て応援給付金410件の支給を行った。 ・令和5年2月1日以降、すべての妊娠届出をした妊婦及び出産児の養育者に対し、保健師等による面談を行い、安心して出産、子育てできるよう相談支援を行った。</p>
[評価等]	<p>すべての妊産婦と面談し、妊娠期から子育てまで一貫して身近に相談に応じることで、様々なニーズに合わせ、必要なタイミングで必要な支援ができた。</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<p>・経済的支援 出産・子育て応援給付金の支給 ・妊娠届出時:妊婦1人につき50千円 ・出生届出後:子ども1人につき50千円</p> <p>・伴走型相談支援 妊娠期から出産・子育てに至るまで、面談を通して各家庭の状況を把握し、悩みや不安に寄り添いながら必要な支援へと繋いでいく。</p>
[スケジュール]	<p>・年間を通して支給及び面談等相談業務を実施</p>

事業シート(令和4年度決算)

事業名	41310 障がい児療育事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(2)	安心して子育てができる環境の充実	
			項	1	保健衛生費		根拠計画			
			目	3	母子衛生費					
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2805							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・発達障がい等の早期診断・療育により、子どもの能力を最大限に伸ばすことを支援し、児童の健全な発達を促す。	概要	・地域療育支援事業(障がい児の診断のできる医師や療育を専門とする作業療法士、言語聴覚士、保育士等による障がいの早期発見・早期療育)の実施
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3		R4			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,210	1,003	1,060	1,060	843	△ 160
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		1,210	1,003	1,060	1,060	843	△ 160
個票枝番	主な事業内容						
	障がい児療育事業(総合診断、家庭療育プログラムの作成等)	1,210	1,003	1,060	1,060	843	△ 160

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		1,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
730	730	730	△ 330	
730	730	730	△ 330	
査定額	説明			
730				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・障がいを早期発見し早期療育につなげるため、地域療育相談を6日間開催し、16人の相談があった。
評価等	・専門スタッフによる診断、相談する機会をつくることで、希望者のニーズを満たすことができた。 ・引き続き市内等近郊でのスタッフ確保に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、診断や相談を希望する市民が早期に診断を受けられるよう事業を実施する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・障がいを早期発見し早期療育につなげるため、地域療育相談を5日間開催し、13人の相談があった。
評価等	・専門スタッフによる診断、相談する機会をつくることで、希望者のニーズを満たすことができた。 ・引き続き市内等近郊でのスタッフ確保に努める必要がある。 ・就学に向け診断、相談を希望する場合があるため、開催時期を検討する。
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、診断や相談を希望する市民が早期に診断を受けられるよう事業を実施する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・早期療育につなげるための専門家による相談事業に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和4年度決算)

事業名	41320 養育医療給付事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(2)	安心して子育てができる環境の充実		
			項	1	保健衛生費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画		
			目	3	母子衛生費						
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2804								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<p>・養育のため病院または診療所へ入院を必要とする未熟児に対し、その養育に必要な医療の給付を行う(または養育に要する費用を支給することにより、乳児の健康管理と健全な育成を図るとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。</p>	概要	<p>・厚生労働大臣または都道府県知事が指定する「指定養育医療機関」の行う以下の医療に対し給付 ・診療、薬剤又は治療材料の支給、医学的措置、手術およびその他の治療 ・病院又は診療所への入院及びその療養に伴う世話その他の看護、移送</p>
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3		R4			増減 (b)-(a)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	
		4,010	2,893	4,010	4,188	4,176	1,283
特定財源	国費 (養育医療費1/2)	1,600	1,120	1,600	1,600	980	△ 140
	県費 (養育医療費1/4)	800	560	800	800	490	△ 70
	その他(養育医療負担金)	800	464	800	800	1,197	733
一般財源		810	749	810	988	1,509	760
個票枝番	主な事業内容						
	養育医療の給付	4,010	2,893	4,010	4,010	3,998	1,105

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		4,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)	
4,002	4,010	4,010	0	
1,600	1,600	1,600	0	
800	800	800	0	
800	800	800	0	
802	810	810	0	
査定額	説明			
4,010				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<p>・厚生労働大臣または都道府県知事が指定する「指定養育医療機関」の行う医療に対し給付 診療、薬剤又は治療材料の支給、医学的措置、手術及びその他の治療 病院又は診療所への入院及びその療養に伴う世話その他の看護、移送 給付実人員 8人、給付件数 31件</p>
評価等	<p>・必要な医療の給付を適正に行った。</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<p>・必要な医療の給付を適正に行う。</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 </p>

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<p>・厚生労働大臣または都道府県知事が指定する「指定養育医療機関」の行う医療に対し給付 診療、薬剤又は治療材料の支給、医学的措置、手術及びその他の治療 病院又は診療所への入院及びその療養に伴う世話その他の看護、移送 給付実人員 15人、給付件数 38件</p>
評価等	<p>・必要な医療の給付を適正に行った。</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<p>・必要な医療の給付を適正に行う。</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定 </p>

担当課 予算要求 ポイント	<p>・養育医療の給付に必要な経費を計上</p>
財務部 査定の 考え方	<p>・積算内容を精査</p>
市長査定 の考え方	<p>・財務部査定のとおりに</p>